まぶだち（2000）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　青春
製作国　日本
時間　99分
初公開日 2001/11/17
公開情報 サンセントシネマワークス

【解説】
　若い才能によって新たな日本映画を次々と生み出していく“J MOVIE WARS”の第５弾。「この窓は君のもの」で注目を浴びた古厩智之が実体験を基に、郷里・長野で１ケ月に渡る合宿ロケを行いながら、少年たちのひと夏の物語を瑞々しく描き出す。生徒役の多くは、現地オーディションで集められた実際の生徒達が扮している。
　長野の小さな町。サダトモ、テツヤ、周二たちはスパルタ教育で有名な担任教師・小林から“クズ”呼ばわりされている中学生。ある日、遊び半分で駄菓子屋で万引きしたことが小林にバレ、彼らの父親は学校に呼び出されてしまう。初めて父に殴られショックを受けたサダトモは反省文を書くが、その行動に感銘を受けた小林はサダトモとテツヤに文化祭での意見文発表会に出るよう命じたのだったが……。
　監督の実体験が強く投影されているためか、初めのうちはあまりにも個人的なエピソードにとっつくにくさを感じる。しかし、美しい里山と田舎町の風景、そしてなによりも少年たちのなりきりぶりに次第に引き込まれていく。ただ、それだけに彼らの追いつめられていく状況が切実に伝わってきて、観ていて、真綿で締め付けられるような息苦しさを感じてしまう。撮影後の彼らの心のケアが必要ではないかと要らぬ心配をしてしまうほどの少年たちの熱演である。決して映画としての完成度は高くはないが、観た者の心に良くも悪くも引っ掻き傷を残してしまうような強さを持った作品である。

【クレジット】

監督	古厩智之	
プロデューサー	仙頭武則	
脚本	古厩智之	
撮影	猪本雅三	
美術	須坂文昭	
編集	掛須秀一	
音楽	茂野雅道	
録音	畑幸太郎	
照明	松隈信一	
出演	沖津和	神津サダトモ
	高橋涼輔	仁村テツヤ
	中島裕太	野村周二
	清水幹生	小林
	光石研	神津ヨシユキ
	矢代朝子	神津ヨリコ
	阿久根裕子	矢野ユリ子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.